

# 八ヶ崎の森で植樹祭

## ～地域の方々に親しまれる森を目指して～

里やま応援団の一起の会が維持管理を行っている 八ヶ崎の森で、2010 年 10 月 31 日に植樹祭が行われ、里やま応援団関係者、松戸市みどりと花の課関係者、小金原 9 丁目町会長、子ども連れ家族など、計 36 名が参加しました。2 年前、森で広い範囲の樹木の伐採がありました。森を大切に思い整備作業のボランティアをしていた「松戸里やま応援団 一起の会」にとっては大変ショックな出来事でした。しかしその後は、地域の方々に親しまれる森作りに取り組みようと、森の再生を目指し、伐採後の森の片付けに汗を流してきました。そして 今回森の再生のため、また近隣の方々にも森に入っただき、森の再生・育成への理解と協力をお願いするため、「第1回 植樹祭」を開催しました。開会にあたり一起の会代表の高木さんからは「今回の植樹が再生への第一歩」と力強い挨拶がありました。また近隣町会長の小林さん、松戸市みどりと花の課の島村課長からもご挨拶があり、地権者からの祝電も紹介されました。いずれも所有者、市民、行政が連携して森を守ることの大切さを、皆さん熱く語っていました。

開会式後は早速植樹です。10 種類 34 本の苗木を斜面地に植えます。斜面地を3段に分け、隣接マンション近くは低木、中間には中高木、奥には高木というように、ゾーン別に異なる樹木を決め、またできるだけ見て楽しめるようにするため、ヤマザクラ・ヤマボウシ・マユミ・ガマズミなど花の咲く木を選びました。参加者それぞれが苗木を一本ずつもち、決められた位置に穴を掘って丁寧に植えます。植える際には応援団の方が植え方や添え木に固定する方法など、いろいろアドバイスをしてくれます。雨上がりであったため泥だらけになった方もいましたが、子どもたちを含め全員参加で作業を行いました。植えたあと、樹木名と植樹した人の名前が書かれた竹板をとりつけて、全作業が終了し、最後に記念撮影です。森の再生にはこれから息の長い活動が必要で、来年の植樹祭の企画も早速準備されています。皆で八ヶ崎の森の活動を見守り、応援しましょう。



台風の影響もあり開催が危ぶまれましたが、31日霧雨の中第1回植樹祭を実施できてホッとしました。足元の悪い中、地域から町会長さん他9名参加してもらったことは大変意義がありました。市みどり花の激励、松戸里やま応援団グループほか多くのボランティアのご協力で盛会かつ無事に終了できました。

・10/31(日)霧雨煙る天候だったが、予定通り「第1回植樹祭」を実施した。

植樹祭式典…高木代表挨拶、小林町会長・島村みどり花課長の挨拶、地権者吉岡さんメッセージ、再生整備の経過報告、植樹要領説明後現地へ

・ウワミズザクラ・コブシ・ヤマボウシ・マユミ・山ツツジ・ガマズミ等38本。

植樹閉会式典 …高木代表のお礼挨拶、お土産の苗木交付(センリョウ、スイセン)

